

名古屋の建築・再発見

装飾をひもとく



名古屋市政資料館 山下啓次郎、金判森太郎設計、1922年

名古屋市役所本庁舎 平林金吾の案をもとに、名古屋土木建築課が実施設計、1933年

2025.9.27土 — 12.25木 場所：高島屋史料館 金城市場（愛知県名古屋市区清水5丁目32-22 金城市場）

開館時間：金城市場・常設店舗の営業時間に準ずる（原則、水木／9:00-17:00、金日月／11:30-21:00、土／9:00-21:00を予定しています）

休館：火曜 入館：無料

主催：高島屋史料館TOKYO | 監修：五十嵐太郎（東北大学大学院教授）| 協力：村瀬良太（名古屋造形大学非常勤講師）

グラフィックデザイン：原田祐馬，山副佳祐（UMA/design farm）| 展示デザイン：大熊敏佳，佐々木一憲，村越怜（analogue）

担当学芸員：海老名熱実（高島屋史料館TOKYO）

高島屋史料館
TOKYO

名古屋の建築・再発見

東京・日本橋高島屋S.C.本館内にある高島屋史料館TOKYOで開催した「装飾をひもとく」展（監修：五十嵐太郎、執筆協力：菅野裕子、2020年9月～2021年2月）は、コロナ禍にも関わらず好評を博し、多くのリクエストを受け、会期中の図録刊行が実現しました。その後の続編「さらに装飾をひもとく」展（2024年9月～2025年2月）では、バージョンアップした会場配布の「日本橋の建築・再発見!マップ」や「日本橋高島屋S.C.装飾スタンプラリー」を多くの来場者を楽しんでいただき、大きな反響をよびました。そして、この度、ついに東京をとびだして、名古屋での展示開催が実現いたします。

名古屋企画では、「名古屋らしさ」に注目してみたいと考えています。帝冠様式、古典主義、結婚式教会が使うゴシック様式、土木構造物、そしてジェイアール名古屋タカシマヤの入るJRセントラルタワーズなど、名古屋の建築装飾を高い解像度でひもときます。「装飾をひもとく」シリーズの定番手法は、その展示スペースの狭さを逆手にとって、街へと展示を拡大・拡張してゆくことです。会場を出れば、周囲には見どころたっぷりのオリジナル建築がたくさん存在しています。

今回も、会場限定の特別な建築マップ（監修：五十嵐太郎、執筆：村瀬良太、画：宮沢洋）を配布します。本展をご覧になることで、見慣れた街や建築が一変し、新たな発見と驚きを感じていただけるのであれば幸いです。



金城市場（撮影／松千代）

本展は、東京で開催した「さらに装飾をひもとく」展来館者の方々から寄せられた「会期終了後、この展示什器はどうなるの?」「素敵だから、これっきりはもったいない!」という多くの声を受けて実現しました。こうした経緯から、この展示は東京で用いた展示什器を、名古屋と東京を拠点に活動する建築設計事務所 analogue が改修し、名古屋版として再生するプロジェクトでもあります。東京日本橋から名古屋の建築装飾へと進化を遂げたユニークな展示什器は必見です。

また展示会場である金城市場は、展示什器を設計する analogue が改修設計を監修した建物（2024年、現在も進行中）です。戦後の市場の風情を残す味わい深い空間は、東京日本橋の百貨店空間とはまた違った魅力にあふれています。素敵なオーナーさんとのご縁もあり、「ここなら飛び出したい!」と開催実現となりました。リノベ建築にリノベされた展示什器が並ぶ、名古屋ならではの建築展、ぜひお楽しみください!



名古屋市役所本庁舎
（外観設計／平林金吾、内装及び実施設計／名古屋市建築課、1933年竣工）



愛知県庁本庁舎（基本設計／渡辺仁・西村好時、実施設計／愛知県営繕課、1938年竣工）



アニヴェルセル 白壁（結婚式教会）
（設計／西脇一郎デザイン事務所、2008年竣工）



カトリック布池教会
（設計／山下寿郎設計事務所、1961年竣工）

装飾をひもとく



名古屋市演劇練習館 アクテノン（旧稲葉地配水塔／旧中村図書館）（設計／名古屋市水道部、1937年竣工、1965年改修、1995年改修）



鶴舞公園噴水塔（設計／鈴木楨次、1910年竣工）



ジェイアール名古屋タカシマヤ7階メンズラグジュアリーゾーン（環境設計／馬場智嘉、2023）

トークイベント
「名古屋の建築装飾をひもとく」

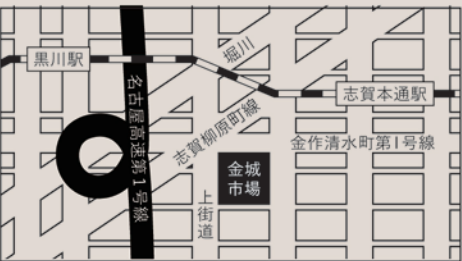


事前申し込み(要)

五十嵐太郎（本展監修、東北大学大学院教授）×
村瀬良太（本展執筆協力、名古屋造形大学非常勤講師）

日時：2025年11月16日（日）18:00～20:00
場所：高島屋史料館 金城市場（名古屋市内）にて
参加費：1000円 詳細は、HPをご参照ください
<https://www.takashimaya.co.jp/shiryokan/tokyo/>

2025年9月27日(土)～12月25日(木)
休館：火曜
開館時間：金城市場・常設店舗の営業時間に準ずる
（原則、水木／9:00～17:00、金日月／11:30～21:00、土／9:00～21:00）
入場料：無料



アクセス
・地下鉄名城線「志賀本通駅」から徒歩8分
・地下鉄名城線「黒川駅」から徒歩11分
*ご来館の際は公共交通機関のご利用をお願いいたします。

高島屋史料館 金城市場
（愛知県名古屋市中区清水5丁目32-22 金城市場）
高島屋史料館TOKYO HP <https://www.takashimaya.co.jp/shiryokan/tokyo/>
金城市場 HP https://www.instagram.com/kinjo_ichiba/

